

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 5

編輯局報情

週報

號日七十月六

兩洋同時作戰の展開
 開戦六ヶ月の陸軍綜合戦果
 敗戦米國の國民生活
 戦時下貯蓄の實例
 本年度の資金統制計畫

297號

昭和十七年十月十一日第三種郵便物認可
昭和十七年六月十七日發行
（毎週一回水曜日發行）

五錢

週

報

昭和十七年十月十一日

第三種郵便物認可

（毎週一回水曜日發行）

内閣印刷局印刷發行

週報は民翼の道しるべ

大東亞戰爭國債

勝利は為す 一枚一枚

郵便寄賣出 自六月二十二日 大信 省

（判A5規格規定國はさき大の書本）

週報 第二九七號 六月十七日

征戦半歳に當りて……二
 南洋同時作戦の展開 大本營海軍報道部……九
 六ヶ月間の陸軍総合戦果……二
 本年の資金統制計畫……企 畫院……二
 どうすれば貯蓄できるか 國民貯蓄獎勵局……三
 實施された 勞働者年金保險法 保險院……元
 敗戦米國の國民生活 情報局長 奥村喜和男……三
 大東亞戰爭日誌……三

週 間 日 誌

六月五日(金)
 △第四十二回(海軍第十一回)支那 事變生存者論功行賞の御沙汰あらせらる
 △帝國海軍特殊海軍 五月三十一日、マダガスカルおよびインドニ港を寄渡の旨、大本營發表
 △中支軍、撫州を完全占領 六月六日(土)
 △帝國海軍部隊、五月下旬ならびに六月上旬、東京灣、湖神南方および九州西南方において敵潜水艦四隻を撃沈の旨、大本營發表
 △中支軍、衡州附近、東郷(台)を完全占領 六月七日(日)
 △大東亞戰爭開始以來六ヶ月間(五月三十一日まで)に收めた帝國陸軍の総合戦果およびわが方の損害ならびに占領地の現状を大本營發表

六月八日(月)
 △天皇陛下、兩獲兵器を天覽あらせらる
 △第五十三回(陸軍第三八回)支那 事變論功行賞および第四十二回(海軍第三十三回)支那事變生存者論功行賞の御沙汰あらせらる
 △支那事變に共同作戦の滿洲國軍人に勳章または従軍記章贈與の御沙汰あらせらる
 △安藤大政翼賛會副總裁、國務大臣に任ぜらる
 △内閣および各省委員の候補者決定
 △滿洲國皇帝陛下、滿洲國の防衛、確立に功績の日本軍人軍属に贈物の御沙汰あらせらる
 六月十日(水)
 △帝國海軍部隊のアリュエシヤ列島海軍(五日、五日)、ミッドウェイ海軍(五日)ならびに陸海軍協同のアリュエシヤ列島攻略(七日)に關し大本營發表

國民合唱
南へ進む日の御旗

作曲 小田 功 作詞 堀内 敬三 編曲 堀内 敬三

南へ進む日の御旗
 萬里の雲を渡りつづ
 嶺や敵地 怒濤の如く
 降りしく花か 落下傘
 狂風たちまち敵陣は砕く
 南へ進む日の御旗
 日ざしは燃ゆる海原を
 幾日の艦 幾千の飛翼
 敵影追ひて討つところ
 空高く 波湧きて
 敵艦覆け散り敵陣は滅ぶ
 南へ進む日の御旗
 御旗何に 虎走る野に
 渦巻く潮は 密林に
 敵とし見れば 砲撃の
 轟轟に 砲撃の全軍は轟る

堀内敬三作詞

露光量違いにより重複撮影

露光量違いにより重複撮影

国民合唱
南へ進む日の御旗

作曲 小山 三郎
作詞 堀内 敬三
編曲 堀内 敬三

J=112

1. 南へ進む日の御旗
2. 南へ進む日の御旗

南へ進む日の御旗
堀内敬三作詞

南へ進む日の御旗
萬里の雲を凌ぎつつ
襲ふや敵地 怒濤の如く
篠竹の征矢か 内火艇
降りし花か 落下傘
猛撃たちまち敵陣は砕く

南へ進む日の御旗
日ざしは燃ゆる海原を
幾百の艦 幾千の飛翼
敵影追ひて討つところ
空轟きて 波湧きて
敵艦裂け散り敵機は滅ぶ

南へ進む日の御旗
御稜威いたたく皇軍が
騎棲む河に 虎走る野に
渦巻く潮に 密林に
敵とし見れば殲滅の
武勇に醜虜の全軍は崩る

週報

第二九七號
六月十七日

征戦半歳に當りて……
南洋同時作戦の展開
大本營海軍報道部……

六ヶ月間の陸軍総合戦果……
本年の資金統制計畫……
どうすれば貯蓄できるか
勞働者年金保険法 伴 隆……
敗戦米國の國民生活
情報局長 奥村喜和男……
大東亞戦争日誌……

週 間 誌

六月五日(金)
第四十一回(海軍第三十八回)支那
事變生者勳功行賞の御沙汰あ
らせらる

六月六日(土)
帝國海軍特殊潜水艦 五月三
十日、マダガスカルおよびシ
ンガポールの奇襲の旨、大本營
表

六月七日(日)
中支軍、撫州を完全占領
六月八日(月)
帝國海軍部隊、五月下旬なら
びに六月上旬、東京灣、羽神南
方および九州西南方において敵
潜水艦四隻を撃沈の旨、大本營
表

六月九日(火)
中支軍、備州(重江)を、東郷(江)
を完全占領

六月十日(水)
大東亞戦争開始以來六ヶ月間
(五月三十一日)に收めた帝國陸
軍の総合戦果およびわが方の損
害ならびに占領地の現状を大本
營表

六月十一日(木)
帝國海軍部隊のアリュエシヤ
ン列島強襲(四日、五日)、ミッド
ウェイ海戦(五日)ならびに陸軍
協同のアリュエシヤン列島強襲
全日以後に關し大本營表

六月十二日(金)
六月十三日(土)
六月十四日(日)
六月十五日(月)
六月十六日(火)
六月十七日(水)

征戦半歳に當りて



征戦六ヶ月、今や大東亞戦争の戦域は、北はアリューシャン列島から南は濠洲南端のシドニー、東は米本土沿岸から西は南阿マガスカルに至る廣袤實に二億平方哩地球の半ばに達せんとしてゐる。正に世界戦史に嘗てみぬ雄大な規模である。

御稔威の下、皇軍將兵の勇戦奮闘は、開戦僅か六ヶ月にして、西南太平洋における米英の陸上、海上の勢力を悉く覆滅し去り、矛を轉じて東太平洋と西インド洋に「敵を求めて必ずこれを撃滅する」一大積極作戦を展開するに至つたのである。

征戦半歳にして、皇國の必勝不敗の戦略態勢は全く成り、南方諸地域では、戦ひは既に建設の段階に入り、共榮國の基礎は確立されたといふことが出来よう。

現に南方では、軍政の下に建設は着々と進められてゐる。攻略後間もないビルマにも、六月四日から軍政が施行され、元首相バーモ博士を委員長とする中央行政機關設立準備委員会が結成された。その他の諸地域にも、哨煙の中

から早くも東亞新建設の植音が力強く響いてゐることは周知の通りであるが、支那大陸と異つて、南方諸地域には建設を妨害するゲリラ戦はなく、住民の心からの協力の下に建設は極めて順調に進んでゐる。一例をあげれば、建設の動脈をなす鐵道も、フヨロピン、マレーでは既に全通し、ジャヴァでも全線復舊し、ビルマでもラングーン・ラジオ間は既に開通した。

資源の開発復舊も大體順調に進み、石油、ボーキサイト、鐵、錫、タングステン、鉛、ゴム等の軍需資材の獲得に

全力を注いでゐる。

これらの資源を共榮國內に獲得したことは、米英の經濟逆封鎖を意味するばかりか、これに五ヶ年に亘る大陸の經濟建設と十ヶ年に及ぶ滿洲經濟建設の成果を加へると、わが經濟戰の戦力は、いかなる長期戦にも堪へ得る力を備へるに至つたといふことが出来る。

即ち滿洲事變と支那事變の基礎の上に、大東亞戦争開戦半歳にして、皇國は武力戰、經濟戰に必勝不敗の地歩を占むるに至つたのである。しかし戦争は武力戰を第一次の戦線とし、經濟戰を第二次の戦線とし、さらに思想戰を第三次の戦線とする。

大東亞戦争は敵米英にとつても、その死活を賭けての一戦であるから、尤大な軍備擴充計畫に望みを囑して、長期の抗戰に、或ひは苦肉の反撃作戦に出るであらう。武力戰においてすら戦ひはこれからである。

經濟戰も單に物だけの戦ひではない。米國は毎日一億ドル乃至二億ドルの戦費を支出して對日戰備を増強してゐるが、米英は自由主義思想のある限り、日本に大和魂のある限り、決して数字だけで驚くには當らない。しかしこれに應ずる國防計畫の増強を怠つてならぬことはいふまでもないことであつて、増税にも、國債消化にも、増産にも、

消費規正にも、今こそ傳統の大和心の雄々しさを揮ひ起さねばならぬ秋である。

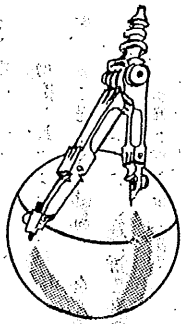
南方に豊富な資源を獲得したとはいへ、單に物が在るだけでは何にもならず、復舊開發が問題であり、輸送力の増強が問題である。しかも單にそれだけの問題ではない。物を造り出すのは人であり、物を活かすも殺すも、結局は人の精神力である。

南方の經濟建設に東亞十億の民の信頼と協力を得るには、大東亞新秩序建設の意味を彼等に十分に理解せしめねばならない。何が新秩序であるかの基準は、道義に基づき指導を中心とした協同協力の日本世界觀、物心一如の日本精神によつて初めて與へられるのである。

この意味からいつて、大東亞戦争は思想戰の段階に入つたと言ひ得る。征戦半歳にして武力戰、經濟戰において不敗の態勢を確立した日本は、米英の自由主義思想を撃滅して歸二翼賛の奉公精神に立ちかへり、思想戰においても絶對不敗の態勢を確立せねばならない。日本の歴史、アジアの歴史が、これからは世界の歴史となつて行くのである。われわれ國民の一人一人がこの世界創造の戦士としての自覺に徹し、經濟戰、思想戰を力強く戦つて行かねばならないのである。

兩洋同時作戦の展開

大本營海軍報道部



開戦以來半歳にして、帝國海軍の作戦線は、西は六千五百哩を距る西南インド洋のマガスカカル島、南は四千五百哩を隔てたグッチハーバーへと伸び、わが海洋作戦は、いよ／＼雄渾無双なる規模において展開されつゝあるのである。

すなはち、敵勢力を徹底的に撃滅し盡さねばやまぬわが海軍部隊は、矢張り早に次ぎのやうな敵の虚を衝く電撃作戦を敢行、いづれも赫々たる戦果をあげてゐるのである。

- ▼特殊潜航艇によるマガスカカル島ダイエゴ・スアレズ襲撃(五月三十一日)
- ▼特殊潜航艇による濠洲シドニー襲撃(五月三十一日)
- ▼海軍部隊によるアリューシャン列島グッチハーバー空襲(六月四、五日)及び陸軍部隊との協力による同列島諸要點の攻略(六月七日以後作戦進行中)
- ▼海軍部隊によるシドニー島襲撃(六月五日)

西印度洋に必殺電撃

昨年十二月八日、ハワイ真珠灣の奥深く突入して不滅の偉勳を樹てた特殊潜航艇は、マガスカカル島に再び姿を現はした。わが特殊潜航艇は、五月三十一日未明、丁度一ヶ月前英米が、理不盡にも占領した佛領マガスカカル島北端の最大の根據地ダイエゴ・スアレズ港の突入に成功、同港在泊の英艦隊に決死の猛攻を加へ、戦艦クイーン・モリザベス型一隻三万五千トン、乙巡洋艦

レスーサ型一隻(五千二百三十トン)を撃破したのである。

四月上旬のわがインド洋作戦によつて、セイロン島から敗退した英海軍は新たにダイエゴ・スアレズを根據地とし、戦艦クイーン・モリザベス型を中心とする新艦隊を配し、南阿のサイモン・タウンとインド西岸のボンベイを結ぶ戦路線の強力な一環たらしめ、西インド洋の制海権を維持すると共に、近東方面への交通路の確保を圖らうとしたのである。

またダイエゴ・スアレズの侵略によつて、英海軍が自國內外に對する威信回復の具に供してゐたことは、争はれないところであるが、一ヶ月を出でずして、わが電撃作戦の前に、同港を覆滅されたことは、戦路的打撃は元よりのこと、精神的影響も深刻なものがあつたらうと考へられる。すなはち本作戦によつて、すでにインド洋東半部を

制壓中のわが海軍は、敵をアフリカ西海岸に壓迫することになり、残されたインド洋西半部も、いよ／＼わが制壓下に置かれようとしてゐるのである。

インド洋西半部の制海権を失ふことが、インドにとつても、近東にとつても、如何に致命的であるかはいふまでもあるまい。もし敵がたまりかねて、インド洋の東部へ反撃して來れば、わが思ふ壺であり、また英米が誇稱するやうに、歐洲第二戦線の構成に血道をあげることになれば、帝國海軍は獨伊に呼應して、いよ／＼インド洋を荒し廻ることは必定であつて、いづれにしても英海軍は進退兩難といふべく、その勢力が日に／＼凋落しつゝあることは蔽ひがたい事實である。

全濠洲の戦慄

一方、他のわが海軍部隊は、特殊潜航艇をもつて濠洲最大の要港シドニーを

強襲、米艦と覺しい大型軍艦一隻を撃沈し、全濠洲を震ひ上らせたのである。

米政府當局は、相次ぐ敗戦の事實をひた隠しに隠し、濠洲防衛に對しては絶対不敗の態勢を整備するに至つた」と豪語し、また米國の尻馬に乗つた濠洲政府當局も「米國の援助により濠洲の防衛に不安なし」と、氣休めめ左強がりをつてゐたのであるが、わが海軍部隊の必殺の一撃によつて、その實體を暴露するに至つた。

本作戦によつて米海軍は、またしてもその兵術の拙劣幼稚さを暴露したのであるが、濠洲の心臓であるシドニー港が、易々とわが猛攻にさらされ、徹底的に撻亂されたことは、濠洲が最後の頼みとする米濠連絡線が、全く危殆に瀕するに至つたことを物語るものであり、濠洲にとつて致命的な脅威であるばかりでなく、濠洲をもつて對日反

撃の最後の足場とし、東洋への野望をこゝに掘返し、ようとした米國にとつても、深刻な痛手だつたに違ひない。もとく米海軍は、緒戦勢頭のハワイ海戦によつて太平洋艦隊の主力を撃滅され、マニラのアジア艦隊また脆くも覆滅され、さらにジャヴァ海方面において残存勢力に殲滅的打撃を受け、英國と共に新たに派遣した艦艇をもつて珊瑚海に反撃を試み、わが制海権の伸張をこゝに喰止めようとして失敗し、辛うじて残されたいはゆる南方進軍路を維持して、濠洲への輸血路たらしめんとし、最近に至り少將シャフ

ヌを新たに東南太平洋米海軍司令官に任命し、濠洲防衛に躍起となつてゐたのであるが、この「南方進軍路」も、その根元において切斷されんとするに至つたのである。珊瑚海の敗戦後、敵海軍はシドニーを最後の退避地とし、こゝに類勢挽回

の足場を築き、一方、米濠連絡線を確保せんと努めたのであるが、敵に息もつかさぬわが電撃作戦は、敵の企圖を粉砕し、濠洲を孤立化せしめるに至つたのである。

「北方進軍路」の覆滅

マダガスカル強襲、シドニー急襲によつて、インド洋ならびに西南太平洋における敵機動の餘地をなからしめたわが海軍部隊の作戦線は、今度は遠く北に伸びて、六月四、五兩日のダックハーバーの空襲となり、七日以後続行中のアリューシャン列島諸要點の攻略となつた。

もとく米國は、戦前から東洋に對する三つの進軍路を想定し、シナトル對岸のビューゼットサウンド軍港を本據とし、アラスカのシトカからロジャク島を経て、アリューシャン列島のダックハーバー、キスカ、アッツを結ぶ線

から、わが國を窺はうとする、いはゆる北方進軍路を重視してゐたのであるが、シトカ、コジック、ウナラスカ島等には、一九四一年七月までの間に前後三回に亘り、合計三千三百方ドルの巨費を投じ、空軍および潜水艦基地として軍事施設を強化しつゝあつたことから、その意圖が判然とするのである。

ことに、緒戦によつて、ウエーキ、グアム、マニラの前進基地が攻略され、いはゆる中央進軍路は寸斷されてしまひ、「南方進軍路」もまた完全にその死命を制せられるに至つた現在、敵に殘されたものは、その「北方進軍路」だけなのである。

もとより、既に濠洲進軍作戦を策する敵艦隊勢力は潰滅してゐるとはいへ、北方の諸基地を準備し、航空機または潜水艦によるわが本土襲撃といふ深い期待は殘されてゐたわけであ

る。ところがこの期待さへも、わが海軍部隊のダックハーバー攻撃、並びに陸軍部隊との協同による諸要點の攻略によつて、一場の夢と化し去つてしまつた。

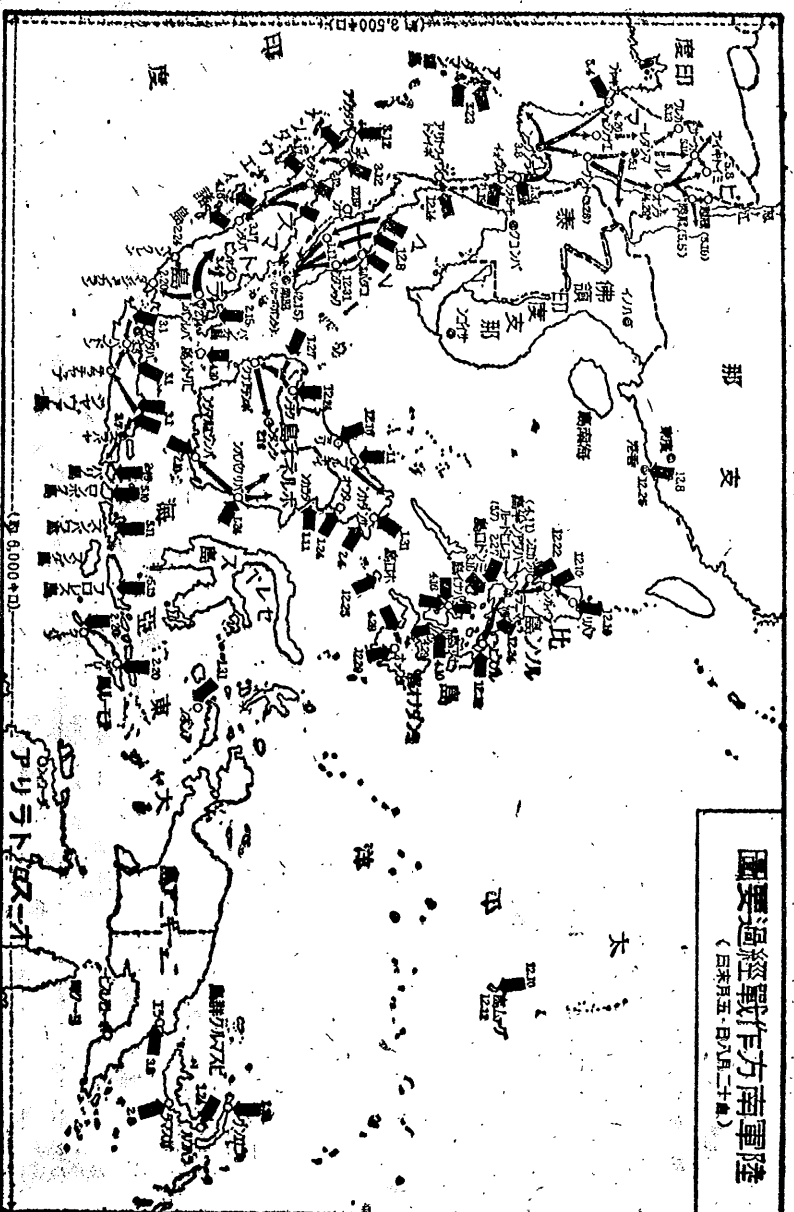
アリューシャン列島の諸要點を攻略したことは、夏季を迎へるに當つて敵の機動を先制したものであり、敵が勝算してゐた「北方進軍路」遮斷の態勢はこゝに確立されたわけである。

敵の「空母集團」殲滅

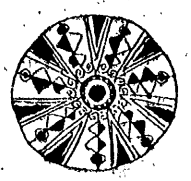
さらにわが海軍部隊は、六月五日、太平洋洋心の敵根拠地ミッドウェーに對し猛烈な強襲を加へ、米航空母艦エントープライズ型(二万九千九百トン)、同ホーネット型(二万九千九百トン)各一隻を撃沈したほか敵飛行機約百二十機を撃墜、重要軍事施設に甚大な損害を與へた。

ける海上勢力は、僅かに航空母艦三隻、多くみても四隻程度を中心とするものであり、海上決戦の勢力を喪失した米海軍は、専ら空母集團によるゲリラ戦を企圖してゐるのであるが、それも珊瑚海敗戦後は極めて望みの薄いのとなつてゐた所へ、今また虎の子の空母二隻を失つて、いよいよ最後に殘されたゲリラ戦さへが、全く消滅するに至つたといへるのである。

べきであらう。すなはち、戦艦を初め各艦艇を大量に喪失した現在、敵の「骨」は實に僅かに殘された三隻乃至四隻の航空母艦だけなのであるが、これを撃滅してしまへば、敵にとつて、相當期間海上權の再建は出来なくなる道理で、殊に多數の航空母艦を保有するわが方としては、その目的を達するためには、一艦一殺至難で刺し違へても差支へないものであつて、かゝる犠牲は雄渾なる作戦目的を達成するためには、まことにやむを得ないのである。



重要経戦作方南軍陸
(日米第五・第六軍二十編)



本年度の資金統制計画

企 畫 院

昭和十七年度の資金統制計画は、かねて企畫院において關係各官廳と鋭意協議立案中であつたが、六月二日の閣議に附議され、正式決定をみるに至つた。資金統制計画は、いふまでもなく戦時下におけるわが國力の総合的な運用發揮を目的とする國家總動員計畫の主要な一翼をなすもので、いはゆる「人」或ひは「物」の面からする計畫に對して「金」の面から、これらと三位一體的に相應した資金の配分と供給に關する組織的な計畫を立て、これによつて現下の財政、産業、金融等に關する諸政策の實行運営に萬全を期さうとするものである。

本年度の計畫作成に當つては、大東亞戦争の完遂と大東亞經濟建設のため必要とする戦争財政の需要充足、および産業資金の供給に遺憾なからしめることを旨とし、わが國家資力を動員すると共に、その配分の適正と供給の確保を企圖してゐる。かくて本計畫は、公債の發行と消化、産業資金の所要と調達、満支および南方に對する投資、新たな資金の蓄積、並びにこれらの総合的動員供給に關する計畫を策定すると共に、この計畫達成のために必要な各種の措置の大綱を定めたのである。

本年度の資金統制計畫の策定に當つては、次ぎのやうな基本方針を堅持した。

第一に、公債資金と生産擴充資金および對外投資資金との間に適當な均衡を得させること

戦争しつつ、建設を實行することは皇國の大方針である。従つて、これに即應する財政、産業および投資資金を完全に充足することは、現下の經濟計畫進行上、必要缺くべからざる課題であるといはなければならぬ。しかし國家資力の増大と國民經濟の圓滑な運営のためには、これに充つべき資金に限度のあることはいふまでもない。従つて、

基本方針

この限りある資金の配分供給に際しては、それらの間に適切妥當な權衡と調和を保つことが肝要であつて、かやうにしてこそ初めて、戦争の完遂、生産の擴充、および大陸並びに南方の經營開發が支障なく併せ達成されるのである。

第三に、所要資金は海外資金の動員によるほか、すべてこれを國內蓄積に俟つものとし、有効かつ強力な蓄積計畫の實施を期すること

經濟の基礎を安固にし、その健全な發展を圖るためには、どんなに必要な資金でも、これを濫りに通貨の膨脹、等信用操作で造り出された資金を以て賄ふことは嚴に避けねばならない。それ故、供給すべき資金は、海外動員によるものほ、かはすべてこれを國內蓄積に俟たねばならず、またこれがために、強力にして有効な施策を講じて購買力の徹底的吸收を圖り、以て所要資

金の調達供給を確保しなければならぬ。

第三に、物資並びに勞務動員徹底の情勢に照應し、且つ最高効率を發揮させるやう、各資金の動員とその供給を適正にすること

國家總動員態勢の整備充實は、經濟のあらゆる分野と國民のあらゆる職域に亘つて、物資動員と勞務動員の徹底を促進しつゝあるが、資金計畫においても、これら諸計畫の實情に相應すると共に、一方、資金の最高効率の昂揚を圖らねばならない。そしてそのためには、どの部面からどんな方針によつて必要資金を獲得すべきかについて、またその資金の配分供給の適確公正を期するために、十分な検討と慎重な考慮を拂はねばならない。

第四に、諸般の情勢變化に即應して資金の供給を調整するため、相當額の調整準備金を保留すること

皇國の國是は不動であり、その進路は儼然としてゐる。そしてその使命と發展のために、戦争に、産業に、軍官民舉げて不撓の努力を傾けつゝあるのであるが、諸般の情勢の變化に對應して、財政、産業、或ひは對外投資の緊急需要を充足し、具體的施策に遺憾なからしめるため、本年度の計畫においては相當額の調整準備金を設けて、計畫の實行確保に萬全を期してゐる。

公債資金計畫

右の根本方針に基づいて決定された資金需要のうち、最も大きな比重を占めるものは、いふまでもなく公債消化に要する資金である。陸に海に空に、東に西に南に展開されてゐる、雄渾無比の大作戦貫徹に必要な戦費と、高度國防體制の促進完成に必要な施策とに支障のないやうにするためには、財政資金需要の増嵩は避

けられないところである。右の財源としては、相當に増徴されてゐる租税。その他の政府収入にも多大の期待をかけられてはゐるが、その大半を形成する公債による調達額は、昭和十七年度豫算においては百六十億圓餘となつてをり、これは前年度の發行實額約百億圓に比べて五割以上の増増である。そして公債の發行は、その全額消化を伴はぬ場合には、通貨および物價政策の遂行に障害を來し、その影響の波及するところ誠に憂ふべきもののあることは周知の事柄である。

本年度は、國債發行額は現地に於ける調辨等をも考慮し、年度内に現實に發行さるべき見込額を計上し、この發行額は、國內蓄積並びに現地過剩資金の動員等によつて完全消化を期してゐる。そして、これを國內と現地に分ち、さらに國內では、各民間金融機關と關係官廳等に對し適當に割り振り、ま

た國民各位の直接消化の増加をも豫定してゐるが、これらに對する豫定は昨年度に比べると、一樣にいづれも著しく増加してゐる。これは發行額自體が激増した關係上、やむを得ないところであるから、この際、皇國が直而する時局の認識に徹し、官民協力一致、相共に格段の決意と努力を以て計畫の實行に邁進しなければならぬ。そこで特に關係部門に對してそれら、有効かつ強力な指導統制を必要とするわけだ、またこの點に關しては、國民各位の積極的な協力はいふに及ばず、今般新しく結成された金融統制團體の機能發揮に期待するところが極めて大きいのである。

産業資金計畫

戦争需要と經濟建設に必要な物資の生産を確保するためには、軍需産業と、これに關聯する生産産業の擴充

強化に俟たねばならない。かくて本年度の産業資金計畫においては、長期戦力育成のための設備擴充と、目下喫緊必須な物資の生産増強のために要する資金の供給を圖り、軍需産業については、前年度に比べて相當に供給を増加すると共に、生産産業に對しても器材配當計畫と睨み合せて適度な供給の確保を期してゐる。尤も先にも述べたやうに、公債所要資金の著増により、勢ひ産業に廻はせる資金の餘裕が少くなり、供給額總體としては、ほど前年度の程度を踏襲することにし、また、この株式、社債、借入金等による調達方法に關しては、前年度の借入金増加の傾向に頼み、社債或ひは株式による調達にある程度力點を置くやうに策定されてゐる。

かくて産業資金計畫の遂行に當つては、物資動員計畫、軍需および生産産業計畫、並びに國民動員計畫等と歩調

を二にし、企業別および事業場別重点主義の徹底を促し、資金並びに経営の効率的な運用を期さねばならない。そのためには、金融統制團體の活用により統制を一段と強化すると共に、従来に比べて一層細密かつ即實的な方策の實施により、所要資金の調達供給の確保を期してゐる。

對外投資計畫

大東亞の經濟建設は、國內各地域における經濟力を綜合的に發揮し、以て大東亞國防圈の確立を圖らねばならぬのであるが、この大目標達成のため具體的施策については、各地域の經濟發展段階、及びわが國との經濟交通の厚薄等を十分に勘案して決定するべきである。従つて本年度の投資計畫においては、滿洲、支那及び南方諸地域に對して建設開發上、必要な資材技術にして、本邦より供給されるも

資金蓄積計畫

これら公債資金、産業資金、對外投資資金、及びさきに述べた調整準備金は、一部現地資金の動員によるものもあるが、大部分は國內の貯蓄蓄積に俟たねばならない。そして本年度の貯蓄目標は、既に發表されたやうに、昨年度の百六十億圓に比べて七十億圓を増額し、二百三十億圓と決定されてゐる。これは必ず達成すべき數額であり、その成否は直ちに前記各種の供給資金の調達に至大な影響を及ぼし、延いてはわが國戰時經濟の磐石性を擔

の實行に支障のないやう十分に留意すると共に、一方、現金資金の蓄積を増強してこれの統制活用を促進させ、また特に必要な場合には、満支における生産擴充資金につき、日滿支一體の見地の下に特段の措置を講ずるやうに企圖してゐる。

14

がすに至るものであるから、目的達成のためには萬難を排して不拔の努力を傾けねばならない。そして、このためには、銀行、保險、信託、産業組合等のあらゆる民間金融組合機關では、それぞれ指示された目標の資金吸収に最善を盡す必要があると共に、郵便貯金、簡易保險、郵便年金、労働者年金、保險等の増加のため、當該主管官廳においても同様に最大の努力を拂はねばならない。また、國民各自としても、増税の折柄、これと並んで貯蓄が要請されることはまことに容易ならざるものがあるが、この資金計畫實現の源動力となるべき國民貯蓄に萬一にも遺憾なことがあれば、すべては難航に過ぎなくなるのであるから、こゝに國民一體となつて目標達成のために積極的、組織的な活動を展開すると共に、的確にして有効な施設並びに方策の整備強化に努めねばならないのである。

どうすれば貯蓄できるか

戦時下國民貯蓄の實例

戦時下に貯蓄がなぜ必要であるかは、もはや述べる必要はないでせう。本年度の貯蓄目標額は御承知の通り二百三十億圓で、これを達成するためには、日常生活を徹底的に再検討して合理化し、計費化し、消費の節約に努めることが必要です。即ち眞の戦時生活の樹立が急務ですが、生活の切下げは買ふは易く、行ふは難いものです。先づ心構へを新たにせねばなりません。單なる消費生活の切下げではなく、その切下げによつて國防國家の基礎を

作るといふ積極的な心構へこそ、眞の日本國民の態度でなくてはなりません。覺悟は既に十分と思ひますが、要はその實踐であります。二百三十億貯蓄強調週間もいよいよ十九日から始まりですが、これは「貯蓄をしよう、しよう」といふ週間ではなくて、高額の貯蓄を實踐し、これを繼續して行く第一歩とする週間ではなくてはならないのであります。そのために、今年は具體的な實踐項目を、次ぎのやうに毎日々に定めてみました。

その一 どんぐり貯金と繩なひ貯金

もつと働いて収入を殖やせませう。自分で働いて人手を省きませう。「はたらき出し貯金」は、最も意味の多い貯

- 第一日 家計を反省し貯蓄計畫を樹てる日
 - 第二日 節酒、節煙、虚費禁止の日
 - 第三日 物見遊山を慎む日
 - 第四日 働け働けの日
 - 第五日 物を生かして使ふ日
 - 第六日 最低生活實踐の日
 - 第七日 感謝貯蓄の日
- 今は働くところにこと欠くことは無い筈であります。戦地の兵隊さんのことを偲びましたなら、生活費を切下げの餘地がないとは誰もいはれませう。結局心構への問題でありませう。やる氣持があれば、こんなふうには誰にでもやれるといふ事實を、數多い事例の中から二、三拾つてみませう。

蓄です。共同耕作や共同事業で得た報酬をそのまま貯蓄にまはすなど、はたらかし出し貯金の事例は無数にあります。次ぎのどんぐり貯金と細なひ貯金のやうな事例も少くありません。子供でもこんなに一心にやっています。いたいけなこの童心に學ぼうではありませんか。

新潟縣中頸城郡金谷村第一國民學校では、児童の貯金の財源を主として児童の作業に求めて好成绩を収めています。同校からの報告によりますと、昭和十五年末在籍児童数は三百九十一人、團體貯金加入者数が三百十八人、これ等の児童が自分の手で働き出した貯金が昭和十五年一ヶ年で八百三十四圓四十九銭になつてゐます。児童たちはかうして貯金してゐます。二人の児童の綴方から數節を抜萃してみませう。

は豆を入れる小さいふくろを持つて行き、ました。朝早く出かけたので誰も来てゐないだらうから、うんと拾へるだらうと思ひました。さうして午後まで拾つて、翌日、先生にはかつてもらひました。五てん八キロあるとおつしやいました。大きなせいとちもたくさん拾つて来たので、どんぐりが手工室に山のやうにあります。家へかへつてお母さんに、今日のどんぐり五てん八キロだつたでね、といふと、お母さんはこゝろしなげながら、さうかよかつたなあ、とおつしやいました。(尋二男)

その二 女ばかりの節約貯金組合

これは隣組貯蓄組合の好事例です。隣組の活動を通じて國策が徹底し、國力が綜合されるのですから、二百三十億の貯蓄達成の成否も一に隣組の活動如何に懸つてゐます。全國百三十万の隣組がこの實話のやうに働いて、何が何でも二百三十億貯蓄の金字塔を打ち立てたいものです。

の主婦の人々です。女ばかりの貯蓄組合です。昭和十三年にアサさんは自費で見事な貯金箱を作りました。箱はいくつにも隠されてゐて、組合員の名札がそれ／＼に出てゐます。アサさんのお宅は隣組の中央部にあつて、しかも組合員の誰かがそこを通らなければ買物に行けない位置にあります。毎日の夕方手籠籠や風呂敷を手にして買出しに出かける主婦たちが歸りには必ずアサさんの家の横側に出してある貯金箱に貯金することになりました。そのため、その日の買物をそれだけ節約せねばならぬことになりました。

をあふることになつて貯金額も月々増加するばかりであつたといふことです。やがて一、二年後には主婦たちの氣持もすつかり變りました。買物も、買物も、映畫見物も何時のまにか止んでゐました。副食物や晩酌を減らされて、最初は青息吐息であつた御主人たちも心から協力されるやうになりました。それまでにするアサさんの御苦勞もさることながら、ワキ役の組合員の人々も偉いと思ひます。この人々はサラリーマンや定業のない小有階級が多く、貯蓄をすることよりも生活を享受する人々であつたといふことですが、かうして貯金を續けてゆくうちに、單に節約するだけの貯金ではなんだか物足りなくなつて例のデパート巡りや觀劇などをさりとよした結果、これによつて浮く時間が少なくなつてそれを活用することに目をつけた主婦達は、朝の御飯なき前のひとときを、或ひは夫を會社へ送り出した後のひとときを、車手作りや封筒貼りや一刻の時間も惜しんで、眞に涙ぐましい取組を楽しま

その三 薄給の中からいろ／＼貯金

やる氣があれば、貯金はこんなふう



にしても出来るものです。鳥取縣廳に振興貯蓄組合といふ貯蓄組合がありま
す。振興課は貯蓄推進の地方の元締め
なので、課員は貯蓄の指導者ば
かりです。その振興課の全員三十五名
が組合員なのですが、課のモットーは
「寝てゐて人を起す勿れ」といふ聖徳右
川理紀之助翁の言葉であると聞きまし
た。
指導者に必要なことは率先垂範であ
るとは誰も口にすることですが、こ
れをさて實行することは、容易なこと
ではありません。しかも、官吏の月
給は高くないものと相場が定つていま
す。その月給の中から次ぎのやうにし
てされた零細な貯蓄が積つて、現在で
は二千数百圓に上つてゐます。
これ等の貯蓄は、従来からの高額の
國民貯蓄組合の貯蓄のほかに、昭和十
六年五月から始められました。組合員
の人々の苦心のほどが察せられます

が、指導者なるものは實にかくあらね
ばならないでせう。
一、定期貯蓄 毎月俸給日に縣廳の規約に
よる國民貯蓄のほかに一日五十錢以上の
貯蓄をすることになつてゐて、毎月加入
してゐる人も少くありません。これは會
計係で天引します。
二、理髪貯蓄 課内に理髪用具を備へ付け
組合員は交替で散髪することにしまし
た。散髪料を金二十錢として徴收し、
その内五錢を器具の銷却費に充て、残
りの十五錢は散髪された人の貯蓄に繰入
られます。最初は虎刈り頭になつて悲
鳴もあがりましたが、この頃は皆が本職
に劣らない胸前になりました。かうし
て、職員がセイ／＼したイガクリ頭で張
り切つて執務してゐます。
三、新調貯蓄 洋服 靴その他細かい身週
り品に至るまで、新調した場合にはそれ
だけ貯蓄能力があるものとして、購入金
額の二割の貯蓄が強制されてゐます。新
調品は互に監視して見逃しません。

四、感謝貯蓄 大戦果の發表ごとに感謝の
まごころを貯蓄で捧げます。この貯蓄が
最も多く積額に關係してゐます。
五、貯蓄日貯蓄 「貯蓄日」と表示された小
旗が課内に用意してあります。この小旗
は、ふところが温かさうな日をねらつて随
時にかへられます。この場合、職員は
所持金の五分を貯蓄にせねばならぬ義務
を負つてゐます。この貯蓄は課員の現金
所持を少くする役目を果して効果的であ
ると評判になつてゐます。
六、大昭泰蔵日貯蓄 この日は特に聖賢を
奉養して出来るだけ多くの克己貯蓄をし
ます。
七、遅刻貯蓄 朝寝をして遅刻をするなど
は、この戦時下にもつての外のことです
から、遅刻十分につき十錢の貯蓄が強制
されてゐます。しかし、この課には「寝
てゐて人を起す人」は、ありませんから、こ
の遅刻貯蓄は現在のところ一錢もあ
りません。

貯蓄奨励局

たれさ施實
法險保金年者働勞

院 險 保

昨年の三月に制定公布された労働者
年金保険法は、去る六月一日から實施
され、全国の工場・鑛山その他の事業
場で働いてゐる約三百五十万人の労働
者は、名實共にこの保険の被保険者に
なつたわけだ。
尤もこの保険の一部は、去る一月一
日から實施されてをりますから、その時
から既に被保険者になつてゐたわけだ
ですが、これは單に名目上、被保険者に
なつたといふだけで、まだ保険料も納
付せず、保険給付もしてゐなかつたの
です。
その後、事業主(雇主)から加入の
手續が採られましたので、當局ではこ
れら三百数十万にのぼる保険加入の届
出を中心に諸準備を進め、遂に六月
一日から實施され、事業主も被保険者
である労働者も、六月分から保険料を
納付し、事業主は遅くも七月末までに
は第一回の保険料を取續けて納付せね

ばならぬわけで、また一方、保険給付
も始められました。
生産擴充の第一線に活動する産業職
士の生活を保障し、後顧の憂ひなく思
ふ存分に職域率公していただくために、
この年金保険の持つ意義は極めて大き
なものがあるといへます。
この労働者年金保険は、いはゞ産業
労働者の恩給、即ち産業恩給ともいふ
べきもので、労働者が老齢になつたり、
瘵疾となつたり、死亡したやうな場合
に、養老年金、瘵疾年金、遺族年金等
を支給して生活を保障し、労働者達の
明日の生活に安心と希望を與へるため
のもので、戦時下の生産擴充の第一線
に立つて懸命の努力を續けてゐる全国
の産業職士に對する國家の心からなる
贈物といへませう。
次に、本制度の概要を説明いたし
ませう。
被保険者 には三種類あります。

その第一は、法律の規定で必ず加入する義務のある被保険者で、強制被保険者といはれてゐます。

この強制被保険者は、健康保険法の適用を受ける工場・鉱山その他の事業場であつて、普段十人以上の労働者を雇用する所に使はれてゐる男子労働者です。そして被保険者は、労働者に限られてゐますから、職員とか給仕、小使等は被保険者にはなりません。また六ヶ月以内の期間を限つて使用される臨時使用者とか、日傭労働者も、被保険者にはなりません。なほ、今まで健康保険に入らないで、初めて強制被保険者になつた者でも、五十歳以上の者でしたら、本人の希望で申請すれば、被保険者にならなくてもすむやうになつてゐます。

第二は、任意被保険者で、例へば女子労働者とか、十人未満の労働者を使用する小工場に働く労働者達です。こ

れらの人達は事業主の同意を得て申請し、地方長官が認可すれば、すぐに被保険者になれます。

第三は、任意継続被保険者です。労働者年金保険では、原則として二十年以上、被保険者になつてゐない者は、年金を支給しないことになつてゐます。相當長いこと被保険者になつてゐても、二十年にならないで工場等を辞めた方には、非常に気の毒な場合もありまうので、或る期間(十四年以上)まで被保険者であつた者は、工場等を辞めた後も引續いて保険料を納め合計して二十年以上になれば年金が支給されるのです。

被保険者は政府で、政府だけが労働者年金保険を經營し、健康保険のやうに被保険者としての組合は認められてゐません。つまり、政府が直接保険料を徴収し保険料を納めるのです。

保険給付には、養老年金、廢疾

年金または手當金、遺族年金、脱退手當金の五種類があります。

養老年金は、被保険者が老齢になつて退職または解雇されたやうな場合に、老後の生活に必要な一定の金額を一生の間支給するものです。普通の工場等の労働者は二十年以上、鉱山の坑内夫は十五年以上働いてをれば、前者は五十五歳、後者は五十歳から、その間に得た給料平均額の四分の一から二分の一以内に當る年金を、國家で一生支給するのです。

例へば、三十五歳で被保険者になつて二十年間働いた者が、五十五歳で工場を辞めた場合には、その労働者の給料平均額が年千圓(百八十圓程度)とすれば、二百五十圓の年金が支給されるわけです。

次に廢疾年金は、三年以上被保険者として働いてゐた者が、不具、廢疾になつたり、疾病のため一生労働が出

来なくなつた場合に支給される年金で、その額は養老年金と同額ですが、廢疾になつた時から支給されます。この廢疾は業務上、業務外の原因の區別はありません。

なほ、廢疾の程度が全く労働できない程ではなく、今までの仕事が出来ない程度の際には、平均給料の七ヶ月分に當る廢疾手當金といふ一時金が支給されます。

遺族年金は、二十年以上被保険者として働いてゐた者が死亡した場合に、その遺族に支給される年金で、死亡後十年間だけ年金の半分を支給します。

なほ、養老年金を受けるまでにならないうで耐めた者にも、三年以上被保険者として働いてゐた場合には、脱退手當金として相當の一時金が支給されます。

そこで、保険給付をするには、相當に多額の財源が必要です。そのため

事業主と被保険者は保険料を政府に納め、また政府でも一定の費用を負担することになつてゐます。即ち保険の運営に要する事務費は、全額を國家で負擔し、保険給付に要する費用も、その一部を國家で負擔します。

被保険者が負擔する額を「**保険料**」は普通の工場労働者は、月収額の三分二厘、鉱山の坑内夫は月収額の四分の割合で、これと同額を事業主も負擔し、兩方を合せて事業主が納付するわけで、事業主は労働者が負擔する前月分の保険料を労働者の給料から差引けることになつてゐますから、今度の實施によつ

て、七月分の給料から六月分(第一回)の保険料を差引くことになるわけ

寫眞週報

△二百三十億貯蓄強調運動特輯
△貯蓄戰の陣頭に立つ賀屋大藏大臣
△貯蓄が勝ち抜く元手だ
かゝる見事に金を貯蓄した魚田や、徳田や野田は一體どの位の金をかかるといふだろうか！兵器の大生産に力がかかる陸軍兵器廠の巨匠、藤田清三郎

△貯蓄戰に總進軍の町から村からその報告をきく
シドニー
マダガスカル
雲南省
☆全土の平定成つたビルマの新らしい姿
☆花吹山とパプア人
海軍はどたくアンボンの町から
☆技術日本一を競ふ第一回技能競練中央大會

行發日七十月六
錢十價定

敗戦米国の国民生活

情報局長 奥村喜和男

「朕は米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス」の有名な大詔を拜しましてより、早くも半歳の月日を閉じました。この間、米英の東洋制覇の軍事據點を悉く覆滅して、大東亞の天地から敵國の勢力を一掃し、驅逐いたしました。皇軍の士氣はいよ／＼揚り、國民の意氣はますます／＼振ひ、大日本帝國の國威は大東亞を壓し、世界に宣揚いたしてをります。大御孫威の榮光、まさに燦たりであります。

軍隊の士氣は沮喪し、國民の意氣は揚らず、また一方、敗戦に對する國民の政府への非難は熾々たるものがあり、さらに矢次ぎ早やに、しかも無秩序に強制される戦時政策と國民生活の切下げに、國民の不満は次第に深刻となつて參つてをります。一般に、開戦以來は米英の國內情勢を知る便宜がありませんために、一體、敵國の情勢はどうなつてゐるのか、それを知りたいとお考への方が多しと存じます。情報局では、あらゆる情報網を總動員しまして、敵國の國內情勢を探知し、また

各種の情報を蒐集いたしてをります。私はそれらの資料に基づきまして、日本の戦勝がアメリカの國民生活と經濟に與へた影響について述べてみようと思ひます。

戦前の空威張り

十二月八日の大東亞戦争勃發を境といたしまして、その直前における日本の實力を餘りにも過小評價し過ぎた米國の對日恫喝振り、戦前の空威張りにも似合はぬその後の惨めな現實との、最もよき對照を物語る「ニュースを

先づご紹介申し上げます。

それは米國の大衆雜誌として世界的に有名な週刊タイムの記事であります。この十二月七日附、即ち日本の八日附のタイムは、日米戦争を豫想して、

「米國の對日戦争準備は全く成り、西はラングーンから東はホルムルに至るまで、既にアメリカの戦艦は、戦艦配置につき、後ほどは發砲命令を待つのみとなつた。その上、米國の對日作戦の位置は簡單明瞭しかも鐵壁の防禦線である。歸つて日本の實情を見るに、老大な軍備工業は軋るばかりで能率を上らず、造船費は鋼鐵不足で半身に近く、四年に亘る支那事變において、日本軍の飛行機が費消した航空用石油は到底補ひ得べくもない。また五百万トンに上る商船は動くに動かれぬ状態にある。かゝる情勢下にある日本にとつて、戦争を遂行することは經濟的自殺を意味し、さらに日本の家屋は木造で、しかも對空火器が少いとあつては、日米戦争の勝敗は火いもより勝つてある」。

と述べてをり、しかもこの論説は、事もあるに大東亞戦争勃發の日の朝に發行されたものであります。ところが、それから一週間後の、即ち十二月十四日附のタイムは、僅か七日のうちに、掌を反すやうな情勢ぶりです。

「米國の海軍は油断してゐる處を突如攻撃されたのだ。戦争が實際に始まる前の悲劇的な一時間のうちに、米國は第一次歐洲大戦より以上の海軍の大損害を蒙つたのであり、ハワイからの僅かばかりの報道によつて見ても、米海軍は弛緩した日曜日の朝の奇襲によつて完敗を喫したことが現はれてゐる。如何に日曜日の朝とはいへ、戦闘準備の状態にあるべき彼等が怠けてゐたかは明らかであり、日本空軍による第一回の爆撃が開始されてから漸く報復が出るといふ間抜けぶりだつた。それのみならず、敵空軍を退撃すべく真珠灣に配置されてあつたわが空軍は、空襲が始まつた時には明らかにまだ反撃態勢をとつてさへをらず、オアフ島一帯にある兵營では、普通でも日曜は立ててゐるのであるが、この日の兵隊達の意

けぶりは特にひどく、また真珠灣の太平洋艦隊の各艦上では、乗組員達の「クック」の一觸即發の時局をも忘れて安眠を貪つてゐたのだ。そこへ突如日本軍の奇襲だ。その結果は周知の如く惨憺たるものであつた」と述べて、盛んに軍隊の怠慢ぶりを攻撃してゐます。しかし、口は對日恫喝を盛んに唱へ、ボタン一つ押せば即ち日米戦争となり、米國の勝利は火を踏むより勝つてと豪語したのは、ひとりアメリカの軍部のみでなく、政治家も實業家も言論人も悉く同様であり、當のタイム誌自身がその好適例であります。天下に先んじて憂ふることをなさず、後の祭りとなつてから盛んに攻撃し、批評する自由主義言論機關の面目躍如たりであります。

「真珠灣の慘憺たる敗戦の報がワシントンに達しますや、ルーズヴェルトは失神状態になつたとさへアメリカの通信社A.P.は傳へてをります。「セント・ヘレナに第一歩を印したナポレオン

と國權の悲しみが彼を訪れた」といふ名文で、この通信社はその時の大統領の聲を聴くもなく世界に傳へてをりました。

爾來相次ぐ敗戦に、ウエーキを失ひ、グアム陥ち、開戦三句にして、早くも米國のアジア制覇の牙城マニラは攻略せられ、戦つて敗けるなく、守つて失はざるはなき敗戦状態となりました。ハルヤスチムソン、モーゲンソー等の如き排日巨頭の驚きもさることながら、對日強硬論を主張して譲らなかつたスタークやマーンシャル等の陸海軍首腦者達も一様に心膽を寒からしめられました。

當初、米國政府は嚴重な言論抑壓に及びまして、これらの相次ぐ敗戦を隠蔽して、國民の耳目を蔽ふてをりましたが、活潑に展開いたしました日本の海外放送その他の對外宣傳によりまして、事の真相を知るに至り、日本の八

ヶ月に渉る眞剣な平和的努力が、日本に戦ふ力がなく、戦ふ決意のなかつたのではないことを認識すると共に、日本の實力を過小評價して、輕率に對日壓迫を試みて自己の野望を遂げんとしたルーズヴェルトに對する非難が漸次國民の間に起るに至りました。それと共に、ルーズヴェルトは自己の政權維持のために、今や是非でも戦ひ抜かねばならぬ始末となり、一月六日に議會に教書を送つて、今次大戦が如何に長期に亘るとも、最後の勝利を得るまで戦争は止めぬ旨を明らかにし、一方盛んに戰時政策を次々に發表して國民の覺悟を促しました。

食糧品の統制振り

日米開戦後のアメリカの戰時統制の第一歩は、食糧品から始まつてをります。米國は周知の如く、豊富な穀物生産を有する世界有数の農業國といはれ

てをります。従つて主食品には、さきに英獨が開戦直後にしたやうな高度の割當制は未だ實施されておらず、國民生活は少くとも食糧に關する限り、餘り懸念のないやうに思はれ勝ちでありましたが、事態はしかく單純ではないやうであります。

日本の戰勝が食糧品に及ぼした影響のうち、最も深刻なものは砂糖であります。比島及び蘭印からの砂糖の供給を断たれたアメリカは、早くも昨年十二月二十六日、砂糖卸賣相場に最高價格を設定し、越えて一月二十六日には一人一週一ポンド(四百五十グラム)の消費割當制が實施されました。平時でも國內の砂糖生産は全需要の三分の一しかない上に、戦争による船腹不足からキューバの砂糖の輸入も思ふに任せず、農務長官ウィッカドを初め、當局は大倉で消費規正を説いて廻つてをりましたが、悪化する需給状態と國

民の無關心とにたまり兼ねたか、政府は三月に入るや、四月分の卸賣砂糖割當の大削減を行ふに至りました。その結果、實際の家庭用砂糖は前月に比べて二割方減少し、一人當り週一ポンドより遙かに少くなつてしまひました。

三月下旬に至りますや、政府は四月二十七日から一週間、全アメリカの砂糖販賣を停止し、それ以後は切符制を採用すると發表いたしました。安速に馴れたアメリカ國民も、これで甘くない紅茶、苦いコーヒーに十分戦争が味はへることになつたわけですが、そのコーヒーの供給すら輸送船隻沈没に怯える主婦連の買漁り、買溜めで危くなつたらしいのです。このほか、食料脂肪の供給逼迫が傳へられてをり、アメリカ肉類消費の半分を占める豚肉の値上りのため露所の脅威が加はつた、と一般家庭ではこぼしてをり、急激な食糧統制は種々の混亂と不満を起してゐるやうであります。

窮屈になつた衣類

次に、一月七日、政府は毛織業者に對し、本年第一四半期における羊毛の消費量を昨年(四〇%)に削減を命令し、また民需向け毛糸用消費量を昨年同期の五〇%乃至六〇%に減少させよるといたしました。これは戦争により早晩、羊毛供給地濠洲との交通杜絶を觀念した政府の措置でありましたが、その方法が拙劣であつたためと、アメリカ人の個人主義のために、羊毛の買漁り、買溜めが大流行となり、狼狽した政府は一月末に至りまして、婦人連に對し、千人針ならぬ陸兵や水兵へのスニーカー手綱みを禁止するといつた徹底した取締に乗り出しました。二月下旬に至り、出直しの羊毛統制はやつと緒につき、民需羊毛使用の制限を決定して、本年四、五、六月の三ヶ月間に、

製造業者に割當てらるべき數量を昨年同期の二割に削減すべき徹底的な消費規正を斷行したやうであります。米國では羊毛の半分を輸入に俟たなくてはならず、一方、日獨潜水艦の活躍に伴ふ船腹の不足と肝腎の濠洲に火がつきさうな現狀では、アメリカから純毛品の姿を消すのも遠い將來ではないと思ひます。

この外、衣服に關係のあるもので、日本の生糸の輸入杜絶によつて絹靴下がなくなり、代つてナイロンの靴下が鳴物入りの宣傳で登場したまではよかつたのですが、落下傘用繊維の不足でこのナイロンも軍需用に優先させることになり、四月一日以降、靴下は全部代用の人絹といふことになりました。また洋服ブラシの原料、豚毛も使用禁止となりました。

ボタンの上衣禁止、ズボンの大きさの制限および折返の禁止、外套の長さの短縮、縫付ポケットの禁止、飾りバンドの廃止等が政府の命令で厳重に實行されることになりましたが、これは贅澤な生活に馴らされたアメリカ國民の不満と混乱とを想像することが出来ると共に、また一方、アメリカもやはり眞剣に戦時政策を實行しようとして努力しつゝあることを忘れてはなりません。物價統制局長官ヘンダーソンは、三月二十七日ニューヨークで「一九四三年以後の米國民の生活水準は、一九三二年の經濟大恐慌時代よりも更に低下するであらう」と演説して國民を驚かしてをります。

勿論、生活水準の切下げは、かやうな物資配給の面からのみではなく、労働強化の面からも破壊的に行はれつゝあるものであります。全世界に跨る廣大な市場と大規模な機械生産とは、勞

働の一週四十時間制と相俟つて、米國人に恵まれた繁榮と豊かな生活の基礎でありましたが、米國が先きに計畫した約六百億ドルの國防計畫は、一ドル一時間の労働としても、新たに二千數百万人の労働力を必要とし、これがために失業者は勿論、婦人労働者までも動員いたしました問題にならず、遂にこの四十時間制にメスを入れ、全米労働者の一週の労働時間を一擧に五割方延長するのなければ、計畫の遂行は全く期待できないといふ矛盾の前に立たされてをるのであります。

ゴム文明に破綻

次に、大東亞戦争がアメリカの經濟に與へた影響について二三お話いたします。その第一はゴム産業に關してであります。米國の文明は一名ゴムの文明であるといはれた位に、ゴムの利用が盛んであります。自動車といひ

電話といひ、悉くゴムを絶対に必要とする産業であります。米國は年々六十万トンのゴムを消費してをりました。その中の三割強、即ち僅かに二万トンが南米アマゾン流域から来るに過ぎず、また合成ゴムは昨年度僅かに一万二千トンで、全必要量の二割に過ぎません。即ち米國の消費する老大なゴムは、殆んど全部をマレーと蘭印から供給されてをつたのであります。今やこれ等の地域が日本の裁定するところとなり、米國はゴムの供給地を喪失して致命的の打撃を受けてをります。

ゴムの杜絶によつて最も痛手を受けたものは、何といつても自動車であります。自動車のないアメリカ文化は考へられないと同様、ドライヴのないヤンキー生活は意味がないとい一般のアメリカ人は考へてゐるのであります。大東亞戦争が勃發いたしましたるや、政府はタイヤ、チェーンを含めてゴム及び

ゴム製品の販賣を一月初旬まで一切禁止しましたが、その後一般民間用のタイヤ配給中止を命令すると共に、娯樂目的の自動車旅行に嚴重な取締を行ひ、一月二日には、乗用車およびトラックの小賣販賣は全然禁止されることになりました。一月末に至つて民需用自動車の生産は全く停止され、三月に入ると民間自動車のタイヤ微用の旨が言明され、さらに最近に至つて、ルーズヴェルトは、全米各州知事に對しゴムの節約上、自動車の時速を六十四キロに制限するやう命令を出しました。これらのことから判断して、ゴム不足は日本では想像できぬやうな不便利を現出してゐるやうであります。

ゴムと製材不足に基づく自動車の製造禁止は、各方面に非常な痛手を與へてをりますが、その一例としてデトロイト市の失職騒ぎがあります。ご承知のやうに、自動車工業都市デトロイトに

は、戦前四十万の自動車工が働いてをりましたが、自動車が製造禁止となり、これに代つて飛行機や戦車の製造が命ぜられるやうになりました。しかし、自動車製造工場を武器製造工場に改造するのは相當の日數がかゝります。そのため四十万の職工は失業しなければならぬことになり、これらの職工が團結して失業手当を一律に要求して當局を困惑させました。かやうな調子ですと、ルーズヴェルトがこの一月に發表した六万臺の飛行機と四万五千臺の戦車製作も、なか／＼思ふやうには行かぬことと思はれます。

錫、石油でも悲鳴

ゴムの次ぎには錫の不足で米國は窮乏に陥つてをります。アメリカは平均十万吨の錫を毎年消費し、そのうちの四十五割は罐詰の生産に當てられてをつたのですが、日本軍のマレー半島裁定

によつて全く錫の輸入が杜絶しました結果、急に南米のボリヴィアに錫を求めてをりますが、肝腎の錫の精錬工場が米國にはないため困つてゐるやうです。數日前、戦時生産局長官ドナルド・ネルソンは、罐詰工場の大數は五月末限り閉鎖を命じると發表して、産業界および一般消費者に大恐慌を與へてをります。また四月一日から、今まで食糧品や化粧品などの容器に使用されてゐた錫製のチューブの使用も禁止することになり、同時にチューブ入りの煉歯磨や、髯剃りクリームは、使用済の錫製チューブと引換に賣渡すこととして錫の強制節約を計ることになりました。

タンクステンについても、事情は錫と全く同様であります。タンクステン合金が武器の製造には缺くことの出来な

たかは十分に想像できません。

アメリカが不足資源に悩んでゐるのは、ひとり東亞に生産される資源のみではなく、アメリカ自身で生産されるものにまで及んでをります。その代表的なものは石油です。それは石油の生産が減少したためでは勿論なく、油槽船、即ちタンカーの不足と撃沈増加による輸送の不円滑と混乱とに基づくのであります。石油に關する當面の責任者たるイックス石油調整官は、三月七日から十四日に至る一週間に、六十八万バレルの石油を油槽船の沈没によつて喪失し、その結果、一週間に東部海岸諸州における石油在庫は頓に激減したと言明いたしました。

アメリカ船船協会の発表によりますと、昨年十月末のタンカーは三百五十隻、二百六十万トンあつたことになりませんが、その後、日獨伊の樞軸國側の潜水艦の活動によりまして、その五分

の油槽船を失ひ、さらに護送制度

の拙劣によつて輸送能力がた落ちとなつたため、石油の輸送力は平時の五十五%、即ち約半分に減つたやうであります。従来、ニューヨーク、ワシントン等の東部地方の石油需要の九割五歩は、メキシコ灣と南米諸港から運ばれてをつたのでありますから、この油槽船の喪失増大によつて東部地方は非常な石油不足を來し、東部地方の交通は大混乱を起しましたが、最近に至つて遂に背に腹は代へられず、五月十五日からガソリンの割當制を實施することになり、一週一臺につき二ガロン乃至五ガロンと定められたやうで、これでは満足に走ることも出来ず、そのため一千二百万臺の自動車交通場裡から姿を消し、ニューヨークやワシントンに見られた自動車の洪水は、昔日の夢になるだらうとブエノスアイレスからの電報は傳へてをります。

ガソリン制限の波瀾

ガソリンの使用制限についてニューヨーク・デイリー・ニューズ紙は、「世界の全ガソリンの三分の二を産する米國がガソリンの使用制限をせねばならぬとは、われわれには理解できぬ。政府當局は、農民がガソリンの制限を受けることは直ちにわれわれに食糧不足の危険が迫ることであることを承知してゐるだらうか」と述べ、一方、ニューヨーク・サン紙も盛んに政府に毒づいてをります。皮肉なことには、ワシントン市だけでも、市の郊外七哩以遠に居住してゐる政府の役人が三万人もをり、彼等には自動車以外には役所に出る交通機関がなく、これがガソリンを取られると、先づ政府の機能が停止するわけで、軍需工業についても同様であり、今、米國ではこのガソリン規正を繞つて問題が續出してゐる様子であ

ります。政府では鐵道による石油輸送力の増加を極力行つてをりますが、なかなか思ふやうに行かず、一方、油槽船の乗組員は撃沈を恐れて航行を拒否するといつた事件が續出して、米國の石油不足はますます激化し、アメリカの戦争遂行に重大な支障を來してゐるやうであります。

なほ、米國の油槽船喪失は、東亞の石油資源を失つたことと相俟つて、イギリスにも少なからぬ影響を與へてをります。即ち東亞の石油資源を失つたため、濠洲、インドなどにおける戦争遂行には、今後、主として米國から必要な石油を輸送せねばならず、この點からも米國のタンカーの撃沈は、米英兩國に甚大な影響を與へてをります。最近のニューヨーク・タイムズによりますと、サンフランシスコから濠洲メルボルンまで油槽船が往復するには四十日を要し、サンフランシスコとカルカッ

タとの間の距離はこの三倍に達し、しかもその上、すべて護送を必要とするといつてをります。

今や米英を逆封鎖

開戦以來六月にして、日本は東亞制覇の野望を有つ米英に對し、その軍事的據點を悉く覆滅して、その勢力を大東亞の天地から一掃いたしました。米英兩國に與へた影響はこれらに止ることなく、米英兩國がその龐大な經濟力に物を言はせて、世界を支配してをつたその根柢をなす重要資源の供給地を賤定いたしました。逆に米英を經濟封鎖し、そのために米英の經濟的混亂を招來してをるのみならず、當面の戦争繼續にすら大支障を與へてをるのであります。日本の戦勝はひとり武力戦のみならず、經濟戦においても壓倒的に勝つてをるのであります。米國の經濟は大量生産機構の上に立

つてをり、しかもその生産力が龐大であつただけに、原料の供給地を失ひ、その商品の販路を喪失したために、今後は重大な危機に當面するものと思はれます。殊に急激な戦争經濟への切替は、米國が自由主義の制度機構を持ち、米國人が自由主義・個人主義であればあるだけにいよいよ深刻な各種の破綻を齎し、一方、天文的數字ともいふべき軍備計畫は、概ね机上計畫に終るのではないかと思ひます。

われわれは米國の經濟力を恐れる必要は毫もありません。皇軍將兵の勇戦奮闘によりまして、アメリカの陸海軍、米國の軍事力の恐るゝに足らざることを體驗いたしました。國民の一部には今なほ米國の經濟力、産業力に恐れを有つ人がなしとしないのであります。これを今まで餘りに米英的な物見方が日本を風靡してをり、物質的に統計數字的に、國力や經濟力を觀

察することに慣らされてをつたためでありまして、正しくないのではありません。自由主義、民主政治の米國は、むしろ世界で最も戦争遂行に不適當な國であり、弱點を有つてゐるとさへいひ得るのであります。個人を基調とし、國家の存立を第二義的に考へる民主主義の國では、一朝戦争となりまして、國家の活動はなかく思ふやうに參らぬのであります。

ルーズベルト大統領は最近の墟邊談話において「吾々がこの戦争に收れるならば、民主主義が再生するには數代乃至數世紀を要する。是が非でも勝たねばならぬ。それには米國民が自己の利益のみを考へてをては駄目であつて、國家が我々を要する場合は、個人の生活の便利や自由を犠牲にする覺悟が肝要である」と述べて、アメリカ市民に犠牲と公共心を今さららしく要求してをります。またウェルズ國務次

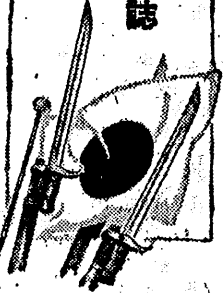
官は數日前、アールソントンの無名戦死兵士墓地の式典場から金アメリカ國民に對して、「アメリカ市民はこの前の戦争以來、物質的利己主義の泥沼に没入し、物質生活の享樂本位といふことに没頭してきた。これらの考へ方は新しい變化した世界には適用し得ないものである。今や我々は、人類史上未曾有の大戦争を遂行してゐる。この大戦争に勝ち抜くためには、全國民はあらゆる力の力を盡して、あらゆる犠牲を甘受する決心が必要である」と絶叫して國民に警告してをります。米國政府當局の眞剣な努力を無視するわけにはゆきませんが、しかしながら、何分ワシントンの建國以來、自由主義と民主主義と、そして物質生活の向上とを建前として來た米國が、今急にルーズベルトの希望するやうな國防國家にならう筈はないのであります。

米國は當に武力戦で日本に敗れたの

みでなく、今や經濟戦においても收戦状態を現出してをります。日米經濟戰また恐ろしいに足らずであります。とはいへわれは慢心してはなりません。この戦争の前途は遠慮であり、戦ひは正にこれからであります。しかも一切の障礙ヲ破碎スルまで絶對に中途半端の妥協の許されぬ撃滅戰であります。東亞の禍根を交除して、大東亞に新秩序を建設するまで戦ひつゞけねばならぬ長期戦であります。

戰勝國民たるわれ日本人は、緒の勝利に酔ふことなく、勝つて兜の緒を締めて、武力戦といはず、經濟戦といはず、開戦以來半段の解々たる戦果を擦り續けて、一踏征戰目的の達成へ邁進しなければなりません。かくて、祖宗の遺業を恢弘し、東亞永遠の平和を確立し、以て帝國の光榮を保全せんとする、宏大無邊の御聖旨に答へ奉り得るのであります。

大東亞戦争日誌



保約五千、遺棄死體約二万、擊墜飛行機四百五十機、同不確實約百十機、火炮約七百門、戰車・自動車・鐵道車輛類約六千百輛、銃器類八千五百挺

自昭和十七年五月十六日 至同 五月二十八日

五月十六日(土)

コレヒドール作戦の戦果
陸軍部隊のコレヒドール島およびマニラ諸要港に對する砲撃の戦果を大本營發表
一、俘虜 一二、四九五六名は米國兵、遺棄死體 六四〇
二、擄獲品 火炮二四六門、小銃一、四三三挺、迫撃砲八十四門、重機銃一、二二〇挺、自動銃六八五、小銃銃統五、二二〇、戰車類二七〇、飛行機八、砲彈十萬三千發、機關銃八十九萬發、糧食少くも一万人に對する二ヶ月分

ビルマ作戦の綜合戦果
ビルマ作戦開始以來、五月十六日までの陸軍部隊の主な戦果を、東條陸相は議會(五月二十七日)で、次ぎの通り發表した

五月十八日(月)

北支の捕虜投降兵激増
北支派遣軍では、四月中の綜合戦果を次ぎの通り發表
交際俘虜 三、五五四、交際投降兵 三、五、四三七、遺棄死體 一、四三三、擄獲品 一、四九二、山砲一、六八、一二五、頭砲五五、〇〇〇、四五二、手榴彈一、〇〇〇、このほか歸順投降兵は約三万人に達し、捕虜の著増と共に敵陣の動搖を如實に物語つてゐる

五月十九日(火)
陸軍航空司令部を襲撃
陸軍では、航空軍司令部を襲撃(六月一日)後、同司令官には大、中將が擄捕されることになつた

エンプレス號沈没
エンプレス・オブ・エンヂャ號(二六九〇トン)は、去る二月東隊輸送中、昭南島沖でわが航空部隊の擄撃を受け沈没の旨、カナダ政府發表

五月二十五日(月)

(六月五日號に記載済)

五月二十七日(水)

帝國海軍の綜合戦果
大本營では、開戦以來五月二十日までの帝國海軍の綜合戦果と我が方の損害を發表(週報六月三日號參照)
擄獲品、ケンタンを占領
日泰同盟條約に基づいて共同作戦中の海軍は、北部國境線を突破、ケンタンを占領

五月二十八日(木)

中支軍、金華を完全占領
浙江省に新作戦を展開中の中支軍は、諸營(廿七日)、新昌(廿七日)、安華(廿八日)、長樂(廿九日)、東陽、義烏(三十日)、武義、龍泉(三十日)、湯溪(三十日)、蘭谿(三十日)の各要衝を攻略、さらに重慶輸血ルート最大の據點である金華を完全占領

モレスビーに三十二機を撃墜
海軍航空部隊は、ボート・モレスビーに對し連爆を敢行、二十六日にはB一七型四機とP三九型五機を、二十七日にはスピットファイアー四機とP三九型六機を、さらに二十八日にはP三九型十二機とスピットファイアー一機を撃墜

電算機 電算機 (本ノ二)

昭和十七年六月 大蔵省・日本勸業銀行

年次	種別	金額	金額	金額
1917
1918
1919
1920
1921
1922
1923
1924
1925
1926
1927
1928
1929
1930
1931
1932
1933
1934
1935
1936
1937
1938
1939
1940

文部省推薦圖書

六月分の文部省推薦圖書が左の通り発表されました。

書名 編著者 大きさ 発行所

近世数学史 高木貞治著 B 六一三 河出書房

南洋の油山 大村一藏著 A 五二五 古今書院

大陸建設の課題 宮本武之輔著 B 六二五 岩波書店

ロシア東部概観史 アスタフキチ著 A 五三〇 生活社

戦時務務管理 松原深見著 A 五三〇 東洋館

勤勞文化 鈴木一義著 A 五三〇 東洋館

ことば風土記 柳田男著 B 五二五 朝日新聞

日本形史 山田徳兵衛著 A 五二五 岩波書店

日本住宅小史 岡野 岩著 B 六三〇 岩波書店

竹の本 竹内以雄著 B 六三〇 岩波書店

日本の結核 藤野野矢著 B 六三〇 岩波書店

モロコシとシエラレオネ A 五三〇 朝日新聞

燈臺の四季 藤野野矢著 B 六二五 岩波書店

出版文化協會の
第一回圖書表彰

日本出版文化協會では、優良圖書の推薦の外、さらに著者及び出版者を表彰することになり、六月十三日第一回の圖書表彰を左の通り発表しました。

一 西域史研究 白鳥庫吉著 岩波書店
二 支那身分史 仁井田 隆著 東方文化學院
三 國語學原論 時枝誠記著 岩波書店
四 龍門石窟の研究 大野清一 共著 長野出版
水野清一 共著 長野出版
藤井吉一 共著 岩波書店
座石實刊行會

注意	御	所込申	定	週	報
▲本誌より精製の場合必ず、週報掲載より離れての旨を明記し、その精製誌を併送願います。本誌記事の精製誌に転載し、その転載記事に對する謝辞を併送願います。御意見を掲載願います。御意見を掲載する場合は必ず、本誌に掲載願います。		全国各地官報販賣所 書店・新聞店・驛賣店	一部 五錢(送料一錢)	昭和十七年六月十七日	
印刷部	編輯部	發行所	定	週	報
東京市地蔵町大手町	東京市神田区	東京市地蔵町大手町			

露光量違いにより重複撮影

